

クラインガルテンだより

■発行／松本市指定管理者 四賀むらづくり株式会社 〒399-7404 長野県松本市取出481-1 TEL.0263-64-4447 FAX.0263-88-4447 令和3年4月1日 ■印刷／株式会社

2021春号 Vol.43

うららかな
春の訪れ！

四賀の

とっておきの

場所

園内彩るチューリップ

日差しを浴びて一斉に陽光向きになったチューリップ群は何とも面白味があります。太陽の恵みが欲しいのは動植物みな一緒ですね！



高遠城址公園から中央アルプスを望む

季節は巡り2021年の春がやってきました。どんな状況下でも冬が過ぎれば春の到来です。コロナ禍に翻弄されつつ越年して早や3ヶ月！終息の見通しがなかなか立たないままに年度が変わりました。新しい人生に向けて羽ばたく人たちがいますし、第二の人生を出発する人もいます。今日を携え明日に向かって一歩一歩前進するしかありません。

今年は東日本大震災から10年がたち、改めていつ起こるか分からない災害に対して誰もが心の備えを常に持つことを肝に銘じたいと思います。



地域に残る道標の役目

横川の大イチヨウ



平成17年に長野県天然記念物に指定されたこの大木は、国道143号線の脇にあり、古来から道

しるべとして樹勢もよく均整のとれた美しい形をしています。

ガルテナーさんをはじめ、地域の人たちもこのイチヨウの木を折り返し点として散歩やジョギングの目標としています。秋の落ち葉は付近一面に黄色のじゅうたんを敷き詰めた様相で圧巻です。

〔松本市教育委員会資料から〕

竹取りしました！

少人数でしたが
1月30日(土)

このところコロナ禍でイベントが開催できない中、大寒の竹やぶに使い勝手の目的を持って十数名が竹取りに挑戦しました。当日朝は氷点下の気温でしたが、作業を

進めるごとに汗ばむ陽気になって、久しぶりの外気に触れた仕事に満足そうでした。



番場の高台



原風景スポット

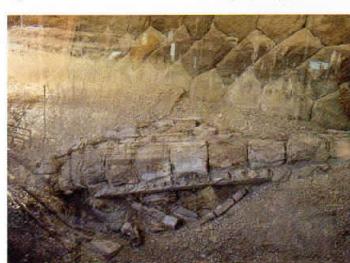
を忘れて故郷に思いを馳せるもよしの場所です。

長野県天然記念物

穴沢のクジラ化石

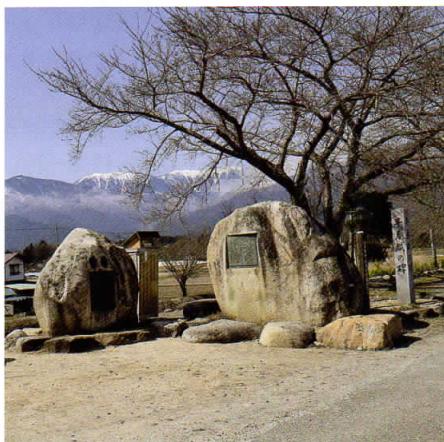
昭和11年に穴沢川の砂防工事中に発見されたものが現地保存されているもので

す。椎骨が12個、肋骨が6個などで近年クリーニングを施して綺麗な状態にあります。この化石は今から1500万～800万年前の海底に堆積した泥岩の地層から見つかったそうです。四賀は海の底だつたんですね！



「春は名のみの風の寒さや…」で始まる早春賦の碑は、北アルプスを背景に安曇野市穂高の穂高川沿いにあり、今この季節は訪れる人が多く、オルゴールの奏でる早春賦のメロディーに思わず口ずさんでいる姿が見られます。

早春賦の碑



四賀



ガルテン歳時記

何と今冬も降雪わずかで保福寺川、会田川とともに水の流れが静かです。四賀を彩る福寿草の花も半月ほど早く咲き、陽だまりでは我先にホトケノザやオオイヌノフグリが春を告げてタンポポも負けじと競います。春爛漫近し！



凍てつく粉雪に大感激! 信濃の冬に私の新発見

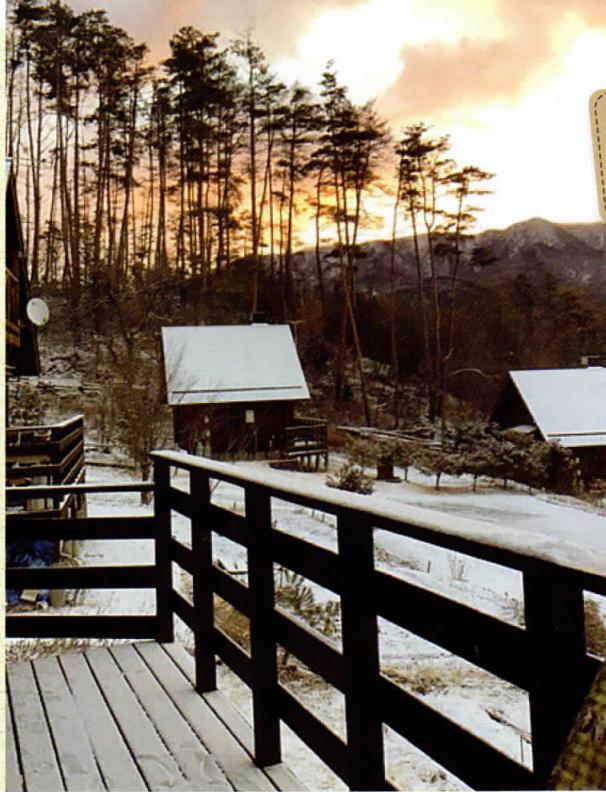
緑ヶ丘クラインガルテン 208号
うちやまたくみ

内山工さん(70)

四賀の里 ガルテナーの冬便り

1月29日(金)

四賀ガルテナーの楽しみ
ガルテンで何してん!?



今朝も山の端から金色の光が差しました。空がオレンジ色に染まりました。

「あつ、朝焼けだ!」

急いでシャツターを切りました。冬のガルテンの朝はお口様との挨拶で始まります。そっと、ガ

ラス戸を開けて深呼吸。外気はマイナス7度。凍てつく空気が身体の中をめぐります。夜中のうちに降った粉雪がうっすら積もってベランダの木目が見えません。指でGood morningと書いてみました。古い木目が現れました。雪を触ったのに指先は乾いたままです。まさにパウダースノーでした。

お口様が昇つて40分ほどたつた

時、ご近所のラウベの屋根から白い雲のようなものが立ち上りました。

その向こうの屋根からも、そのまま向こうの屋根からも、白いものが空に吸い込まれていきました。太陽に引き付けられるよう伸び上がった白いもの、それは細かい水蒸気の粒

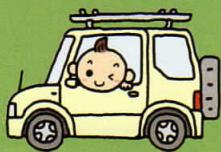
でした。四賀の里に降った粉雪は、液体になることを忘れてしまったのか、固体からいきなり氣体になり蒸発して空に帰っていました。たった5分間の出来事でした。こんな壮大なシーンを作り出す「大自然との出会い」がガルテンにはあるのです。

1月30日(土)

バチバチバチー火の粉が舞います。時折、バーンと耳をつんざく破裂音。焚火の周りにガルテナーが集合しました。今日は竹を伐採する日。一年の一番寒いこの時期に切り出した真竹はとっても丈夫で70年間は使えるそうです。太い

ラウベでは様々な竹達が多く仕事をしています。初夏、軒先の太い竹は、収穫された玉ねぎを乾かします。夏の盛りには細長い竹がキュウリのツルやトマトの枝を支えます。秋が深まる頃、干し柿のカーテンが行儀よく並びます。私は今まで70年間は使えるそうです。太い年切り出した真竹で垣根を直すことを決めていました。丁寧に仕上げようと思いました。70年の時を超えて自作の垣根がこのラウベの煙で作物の成長を見守ってくれると考えるだけで胸がいっぱいになります。「時を超えて繋がれる」とに気付いた1日でした。





クラインガルテンを拠点に出かけるイベント案内

Event information

*イベントは、発表時より変更されている場合があります。事前にご確認ください。

高遠さくら祭り

開催日 4月1日(木)から散り終わりまで
ところ 伊那市 高遠城址公園
お問い合わせ 伊那市観光協会 ☎0265-78-4111(代)

「天下第一の桜」と称される桜の名所。固有種のタカトオコヒガンザクラは濃いピンク色が鮮やか。4月8日(木)～20日(火)は日没から22時(入場は21時)までライトアップ、プロジェクターの投影を予定。入園券は大人500円、小中学生250円。

「公共建築はみんなの家である」展

開催日 4月1日(木)～5月16日(日)8:30～開館時間中(休館日を除く)
ところ 松本市 まつもと市民芸術館
お問い合わせ 同芸術館 ☎0263-33-3800

下諏訪町出身の世界的建築家・伊東豊雄さんが手掛けた公共施設「まつもと市民芸術館」のほか「せんだいメディアテーク」(宮城)「座・高円寺」(東京)などをパネルなどで紹介。3日(土)は伊東さんと同館芸術監督・串田和美さんの対談、10日(土)は串田さんと演出家・佐藤信さんの対談があります。両日14:00から。無料。

押絵雛展 ~古民家で楽しむひな祭り~

開催日 4月4日(日)まで(月曜休館)
ところ 松本市 重要文化財 馬場家住宅
お問い合わせ 馬場家住宅 ☎0263-85-5070

江戸末期から明治時代に建てられた古民家の月遅れのひな祭り。段飾りのひな人形と松本伝統の押絵雛を展示。春を迎えた庭の花木とともに楽しめます。3日(土)は9:30から甘酒の振る舞いがあります(甘酒がなくなり次第終了)。観覧料は大人310円、中学生以下無料。

ベルリントリオ ベートーベン生誕250年

開催日 4月11日(日)14:00
ところ 安曇野市 あづみ野コンサートホール
お問い合わせ 同ホール ☎0263-82-6419

2020年に予定していたコンサート。宮田英恵(バイオリン)、石田聖子(チェロ)、宮本聖子(ピアノ)のベルリントリオがベートーベン「ピアノ三重奏第5番二長調『幽霊』」、ラベル「ピアノ三重奏曲イ短調」ほかを演奏。チケットは一般4,000円、高校生以下2,000円。

上田市立美術館コレクション「春景展」

開催日 5月16日(日)まで(火曜休館、祝日の場合は翌日)
ところ 上田市 サントミューゼ上田市立美術館
お問い合わせ 同美術館 ☎0268-27-2300



三栖右嗣《紅梅図》
1983年

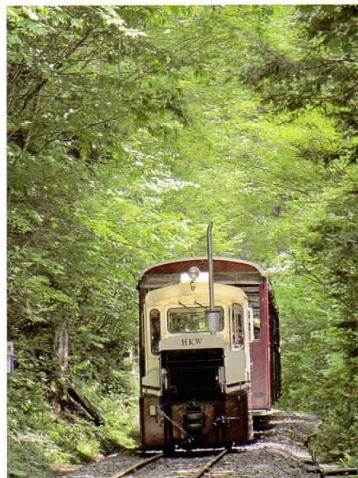
あかちゃん絵本原画展

開催日 4月16日(金)～7月6日(火)まで(木曜休館)
ところ 安曇野市 絵本美術館 森のおうち
お問い合わせ 森のおうち ☎0263-83-5670

「ぽん ぽん ぽん」(あすなろ書房)や、はじめてのことばシリーズ「はーい!」「まんま まんま」(光村教育図書)など、安曇野市出身の絵本作家・まるやまあやこさんの絵本原画展。「あまがえるのかくれんぼ」絵本原画展も同時開催。入館料は大人800円、小・中学生500円、3歳以上250円、3歳未満無料。

赤沢森林鉄道 シーズンスタート

開催日 4月29日(木・祝)から運行開始
ところ 木曽郡上松町 赤沢自然休養林
お問い合わせ 上松町観光協会 ☎0264-52-1133



日本三大美林のひとつ赤沢自然休養林(国有林)を周遊する赤沢森林鉄道。樹齢300年以上の木曽ヒノキの森林浴はいかが。乗車券は中学生以上900円、4歳から小学生600円。繁忙期を除き、毎週水曜日は運休。運行時間などはウェブサイトで確認してください。



企画展「松高人名録(その3)」

開催日 5月5日(水・祝)まで(月曜休館)
ところ 松本市 旧制松本高等学校記念館
お問い合わせ 同記念館 ☎0263-35-6226

松本高等学校開校100年(2019年)記念から始まった企画展。今回は、戦前から戦後まで医療分野で活躍した松高生20人を紹介。コロナ禍だからこそ実感する、日本の医療の発展にかかわってきた学生たちの足跡をたどります。無料(2、3階の常設展示は有料)。

郷土にゆかりのある近現代作家の作品6,000点以上のコレクションから、春を感じさせる花や鳥、風景を描いた日本画や油彩画、版画を展示。また上田市立博物館所蔵の江戸時代の作品も紹介。入館料は一般300円、高校・大学生200円、小中学生100円。